

愛媛県立図書館利用案内

★本を借りるとき★

- 1.カウンターで「利用カード」を作りましょう。
 - ・愛媛県在住・在学の方は、だれでもカードを作ることができます。
 - ・本人の住所確認ができるもの（生徒手帳や保険証など）が必要です。
- 2.本は、**5冊まで3週間**借りられます。
 - ・カウンターに、借りたい本とカードを出してください。

★本を返すとき★

- 1.返す本をカウンターに出してください。（カードはいりません。）
 - ・次の予約が入っていない場合、延長ができます。
- 2.図書館が閉まっているときは、玄関外の返却ポストに入れてください。

★本を探すとき★

- 1.図書館の検索用コンピュータで探すことができます。
（書名や著者名で検索できます。）
- 2.パソコンやスマートフォン等で探すこともできます。
※分からないときには、カウンターでたずねてください。

★本を予約するとき★

- 1.予約カードに必要事項を記入して、カウンターに出してください。
- 2.パスワードを登録すると、パソコンやスマートフォン等から予約することもできます。 ※パスワードの登録は、カウンターで申請してください。

愛媛県立図書館

〒790-0007 愛媛県松山市堀之内
TEL:089-941-1441(代) FAX:089-941-1454

<https://www.ehimetosyokan.jp>

★開館時間★(火～金) 9:40～19:00
(土日・祝日)9:40～18:00
(子ども読書室は17:00まで)

★休館日★ 月曜(祝日の場合は直後の平日)、館内整理日(月末)、
年末年始、特別整理期間(3月中10日以内で館長が定める日)

←スマートフォンサイト <https://www.ehimetosyokan.jp/winj/sp/top.do>



愛媛県立図書館 YAコーナー

YAつうしん

Vol.75 2022.9

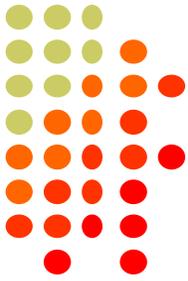
★YAコーナー展示★9月～11月

平和のために
できること



★新刊案内★

- ☆『中学生から知りたいウクライナのこと』小山 哲・藤原 辰史/著
ミシマ社
- ☆『ほんとうの多様性についての話をしよう』
サンドラ・ヘフェリン/著 旬報社
- ☆『ヤングケアラーってなんだろう』澁谷 智子/著
ちくまプリマー新書
- ☆『面白いほどスッキリわかる！世界の気候と天気のおもしろい』
今井 明子/著 産業編集センター
- ☆『なんで信長はお城を建てたの？「お城」のはじまりを探す旅』
畑中 英二/著 新泉社
- ☆『いま君のいる場所だけが、世界のすべてじゃない』副島 淳/著
潮出版社
- ☆『スクラッチ』歌代 朔/著 あかね書房
- ☆『プロサッカー選手は、ど田舎にいる！』山田 明/著 学研プラス
- ☆『恋愛問題は止まらない』吉野 万里子/作 小学館
- ☆『戦争をやめた人たち—1914年のクリスマス休戦—』
鈴木 まもる/文・絵 あすなろ書房



平和のためにできること

2022年9月1日～11月中旬

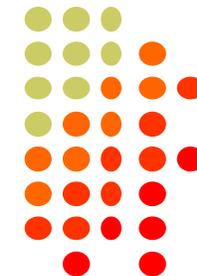
『世界を平和にするためのささやかな提案』

池澤 春菜／ほか著 河出書房新社 2015

「平和」というテーマは大きすぎて、すぐに自分と結び付けて考えるのは少し難しく感じる人もいるでしょう。でも、その糸口は意外に身近なところにあるかもしれません。22人に聞いた「ささやかな提案」とはどんなもののでしょうか？



今も戦争で傷つき、悲しんでいる人がたくさんいます。平和って何だろう？平和のためにできること、考えてみませんか。



『未来をつくるあなたへ』

中満 泉／著 岩波書店 2021

今、世界には解決しなければならない課題がたくさんあります。どんな課題があるのか、どう向き合えばいいのか……国際連合の事務次長として軍縮問題に関わる中で感じたことを、これからの世代のみなさんにメッセージとして贈ります。



『内戦の地に生きる』

フォトグラファーが見た「いのち」』

橋本 昇／著 岩波書店 2019

アフガニスタン、パレスチナ、カンボジア……世界の内戦を取材してきた写真家が、生と死の間で暮らす人々の姿を伝える一冊。文章とともに、写真によって切り取られた白と黒の世界が雄弁に語りかけてきます。



『だれにも話さなかった祖父のこと』

マイケル・モーパーゴ／文 ジェマ・オチャラン／絵
あすなろ書房 2015

マイケルの祖父は遠い島に住んでいて、会えるのは数年に1回程度。祖父のことをもっと知りたいと思っていたマイケルに、ある夏、「だれにもしたことがない話」を祖父が語り始めました。乗っていた商船に魚雷が命中したあの日のことを……。



『ナチスに挑戦した少年たち』

フィリップ・フーズ／作 小学館 2018

第二次世界大戦中、強大な力を持つナチス軍に抵抗した少年たちがいました。兄弟や友人と一緒に小さないたずら程度のことから始めた活動に、同じ気持ちの仲間が加わり、ついには大人たちをも動かすような流れを作り出していました。



他に、『わたしたちもみんな子どもだった』、『戦争するってどんなこと？』、『少女たちが見つめた長崎』『戦火の三匹』などを展示しています。

メールでもご質問やご意見を受け付けます。
アドレスは、ya@libnet.ehimetosyokan.jp
(件名に「YAメールレファレンス」と入れてください。)
★お名前、連絡先メールアドレスも忘れずに入力してください。